





### 第305回定例会 本会議質疑・質問から

と、執事の要旨は、質疑・質問の要旨に答弁するものです。なお、本会議の質疑・質問は、本会議の議事録に掲載されています。

#### 道州制を視野に入れた 県政経営と財政再建

**問** 各県が企業改革の視点で県政経営を進めていけば、自然に道州制への移行が必要になると考える。そうしたことを踏まえ、効率的な県政経営を進めるべきであり、それが財政再建にもつながると考えるが、知事の考えを聞きたい。

**答** 今般策定した「とちぎ行革プラン」において、民間・市町村との役割分担の明確化と費用対効果の視点から、県の事業を聖域なく見直し「とちぎ未来開拓プログラム」の着実な実行により徹底した選択と集中に取り組み、「自律的な財政基盤の確立」を図っていくこととしている。県有財産の有効活用についても、これを経営資源としてとらえ、全庁的かつ長期的視点からの指針を策定するなど、積極的に取り組んでいく。

#### 看護職員確保対策

**問** 地域医療においては、医師不足のみならず、看護職員不足も深刻な問題であるが、県が策定した需給見通しでは、今後五年間においても、需要に供給が追いつかず、看護職員不足が続くことが予測されている。地域医療提供体制確保のため、県は看護職員不足にどう対応するのか、知事に聞きたい。

**答** 看護職員の確保については、県では、県内定着の促進、離職防止、再就業促進の三つを柱に様々な対策に取り組んでいる。今年度は、中小病院の正職員・短時間勤務制度の促進や、新人看護職員研修の充実等の離職防止対策の強化に努めており、さらに今年度は、看護学生へのカウンセラー派遣、助産師資格取得の支援等新たな対策に取り組む。

#### 結城紬の振興

**問** 昨年十一月、結城紬はユネスコ無形文化遺産に決定された。県では、これを契機に結城紬のPRに努めているが、小山市では、新成人が成人式用に結城紬を購入する際の購入費用を助成するなど、生産者にとって安定した受注量を見込める施策を行おうとしている。県は、結城紬の振興のため今後どのような対策を行っていくのか聞きたい。

**答** 新年度、小山市、産地組合と共同で講演会やシンポジウム等の記念イベントを開催して、県内外に広く結城紬をPRする。また、繊維物技術支援センターでは、PR用ビデオの製作、「製織伝習生」の養成に加え、絹くくり等の主要工程の習得を目的に「研究生制度」を創設し、伝統技術の継承と即戦力人材の育成を図る。

#### 観光都市大谷の振興対策

**問** 私は、初当選後の平成十二年度から三期十二年間の議員生活において、ほぼ毎回にわたり、大谷石採取場跡地の安全対策や振興策等について伺ってきた。財団法人大谷地域整備公社については、県出

#### 求職者に対する支援

**問** 本県では国のハローワークとともに求職者支援のための施設を一体的に設置し、仕事を失った方の生活安定と再就職を支援している。私は、宇都宮にあるこうした施設を、国と連携し県内に増設するとともに、平成二十四年度以降も存続させるべきだと考えるが、知事の所見を聞きたい。

**答** 現在、県では、県南・県北地区の求職者支援として、毎月五地区で総合的に対応している。議員ご指摘の一体的な支援を行う施設は、利便性向上や就労支援の充実が図れると考えるが、県労政事務所や他の機関との役割分担などの課題もある。そこで、基金終了後を見据えた総合就労支援のあり方について、栃木労働局や関係機関等と協議調整を図りながら検討する。

#### 新たな視点に立った 観光振興と観光立県の実現

**問** 本県には、新たな観光分野である「ニューツーリズム」の素地となる多くの観光資源があるが、本県ならではの「ニュー

#### TPP(環太平洋連携協定) 参加問題と農業戦略

**問** 食の安全と安定的供給を脅かし、雇用と地域経済全体へ影響を与えるなど、TPP参加は国の根本に係る問題であり、県民の反対運動が広がる中、県は明確なノーの態度を示すべきと考えるが、知事の考えを聞きたい。また、関税の撤廃により、新とちぎ元気のプランの農業戦略にも影響を与えると考えられ、本県農業への影響調査を行うべきと考えるが、併せて考えを聞きたい。

**答** 県は、国に、責任ある説明や情報提供に努め国民の理解を得ていくなどの適切な対応をとるよう訴えるとともに情報収集に努めていく。また、国の全国一律の試算方法では、本県の立地条件や地域農業の形態に当てはめられた正確な影響額の算出は困難である。

#### グリーンスタジアム

**問** 県では、栃木SCのホームスタジアムであるグリーンスタジアムをJ2の加入要件に適合させるために、暫定改

#### 職業観・勤労観醸成のためのキャリア教育

**問** 厳しい雇用環境の中、志望と現実のミスマッチも顕在化している。就職する当事者である学生たち自身の職業観・勤労観の醸成も欠かせない。小中学生の段階から社会に出て働く意味を考えさせ、また、明確な職業像を持たせ、進学・就職の土台となる社会の構成員としての自覚を育むため、キャリア教育にどのような取り組みが聞きたい。

**答** キャリア教育の充実を重要施策の一つに位置付け、将来自立するための基盤となる能力や態度が身に付くよう、学校の教育活動全体で体系的に取り組む。学習と将来の生活や職業を結びつける指導の充実を図るとともに、学校と家庭・地域・企業等との連携を図りながら一層推進していく。

#### グリーンスタジアム

**問** 県では、栃木SCのホームスタジアムであるグリーンスタジアムをJ2の加入要件に適合させるために、暫定改

#### 「とちぎの輪」

**問** 「とちぎの輪」、「とちぎの元気」、「とちぎの魅力」を柱とし、特に、市町村等と連携して実施する交流イベントを重視し、全国各地から来県する方々に県内の名産たる食や観光、特産品などで「元気なとちぎ」に触れていただくことを考えている。また、本県が初めて開催する前夜祭において、選抜された県内各地のご当地グルメなどで歓迎するとともに、来場者の投票により、本県のグルメナンバーワンを決定し、祭典を盛り上げていきたい。

**答** 「とちぎの輪」、「とちぎの元気」、「とちぎの魅力」を柱とし、特に、市町村等と連携して実施する交流イベントを重視し、全国各地から来県する方々に県内の名産たる食や観光、特産品などで「元気なとちぎ」に触れていただくことを考えている。また、本県が初めて開催する前夜祭において、選抜された県内各地のご当地グルメなどで歓迎するとともに、来場者の投票により、本県のグルメナンバーワンを決定し、祭典を盛り上げていきたい。

#### 「とちぎ発スポレク祭」 全国へ向けた 「元気なとちぎ」の発信

**問** スポレク祭という機会を逃さず、食、観光、産業等、あらゆる視点で、「元気なとちぎ」を発信してほしいと考えるが、全国に向けて、どのように「元気なとちぎ」を発信していくのか知事に聞きたい。

**答** 「とちぎの輪」、「とちぎの元気」、「とちぎの魅力」を柱とし、特に、市町村等と連携して実施する交流イベントを重視し、全国各地から来県する方々に県内の名産たる食や観光、特産品などで「元気なとちぎ」に触れていただくことを考えている。また、本県が初めて開催する前夜祭において、選抜された県内各地のご当地グルメなどで歓迎するとともに、来場者の投票により、本県のグルメナンバーワンを決定し、祭典を盛り上げていきたい。

#### 犯罪被害者を支え被害者を 出さない社会づくり

**問** 犯罪や交通事故による被害者への支援と、犯罪被害者を生む悲劇を繰り返さないための取組は喫緊の課題である。特に、若い世代が犯罪被害者の立場を理解し、命の大切さを認識することは、いじめや暴力、自殺の防止にもつながる。そこで、若い世代に対し、犯罪被害者を支え、被害者を出さない社会づくりをどのように理解させるのか聞きたい。

**答** 犯罪被害者を支える社会全体の気運醸成のため、昨年県議会会議事堂で「生命のメッセージ展」を開催したほか、中高生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」を開催した。今後は、大学にも働きかけ、若い世代の心に被害者支援の輪を広げていく。

#### 議会のうごき

◆副知事の選任同意を可決  
須藤揮一郎、麻生利正両副知事の任期満了に伴い、とちぎ生涯学習文化財団理事長の佐藤順一氏を副知事に選任する人事案件について、原案どおり可決しました。

◆平成二十三年東北地方太平洋沖地震に関する意見書案を可決  
三月十一日に発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震の被災者の救済を速やかに進めるとともに、補正予算の編成を含め被災者の復旧について万全の措置を講ずるよう、政府に求める意見書案を全会一致で可決しました。

#### 県議会 ホームページ



本会議の質疑・質問及び予算特別委員会の総括質疑が動画でご覧になれます。  
また、定例会及び臨時会、各種委員会の会議録についても閲覧・検索ができます。  
ホームページ  
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai>